

(7) 優良農地の保全・確保について

想定課題

新たな都市基盤整備に伴って土地需要が増大すると、周辺農地のスプロール的な開発が懸念されるが、優良農地の保全、確保対策はどうすべきか。

対応方向

新たな都市開発に当たっては、土地関連法規等の適正な運用により、優良農地の保全と都市基盤整備の調和を図るとともに、農業・農村の振興という視点からみた土地利用計画の樹立等、適切な対応が必要です。

また、土地利用面での強力な規制の導入など、無秩序な開発を抑制する対策も必要です。

一方、農地が農業以外の用途に開発される場合には、土地利用の広域的な調整を行うことにより、農地の集約化や農業継続希望農家の規模拡大を促進することが必要です。

なお、新しい都市づくりには、様々な機能を持つクラスター整備が想定されていますが、農地の転換が必要な場合には、周辺の営農環境や地域の将来の意向等を十分に踏まえた上で場所や機能について検討する必要があります。